



国際地理 オリンピックに ようこそ!

[第21回]

科学地理オリンピック
日本選手権

[第23回]

国際地理オリンピック
日本代表選抜大会

国際地理オリンピック日本委員会公式サイト

<https://japan-igeo.com/>

主催：国際地理オリンピック日本委員会

共催：公益社団法人 日本地理学会、公益社団法人 日本地球惑星科学連合、国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)

後援：文部科学省、国土交通省 国土地理院、日本地理教育学会、一般社団法人 人文地理学会、東北地理学会、地理科学学会、立命館地理学会、公益社団法人 東京地学協会、一般社団法人 日本地図センター、一般財団法人 地図情報センター、日本地図学会、一般社団法人 地理情報システム学会、経済地理学会、地域地理科学会

協賛：帝国書院、山川出版社、古今書院、東京カートグラフィック、日経ナショナル ジオグラフィック、スポーツショップ クラブライフ湘南

国際地理オリンピックは 「地理力」競う

地理オリンピックの歴史

地理オリンピックのルーツは、1965年、エストニアの大学生が企画した「環バルト海地理競技会」がルーツです。地理学を学ぶ学生が国の垣根を越えて集まり、地理教育の未来を語り合いました。

1994年に行われたIGU（国際地理学連合）の総会（プラハ：チェコ）で、オランダとポーランドの委員が「国際地理オリンピック」を提案しました。それ以降、21回の世界大会と3回の地域大会（アジア・太平洋地域）が行われました。そして2027年にはエルガヴァ（ラトビア）で第23回国際地理オリンピックiGeo Jelgava 2027が行われます。

国際地理オリンピック(世界大会)

第1回大会	1996年	ハーグ：オランダ
第2回大会	1998年	リスボン：ポルトガル
第3回大会	2000年	ソウル：韓国
第4回大会	2002年	ダーバン：南アフリカ共和国
第5回大会	2004年	グディニア：ポーランド
第6回大会	2006年	ブリズベン：オーストラリア
第7回大会	2008年	カルタゴ：チュニジア
第8回大会	2010年	タイペイ：台湾
第9回大会	2012年	ケルン：ドイツ
第10回大会	2013年	京都：日本
第11回大会	2014年	クラクフ：ポーランド
第12回大会	2015年	トヴェリ：ロシア
第13回大会	2016年	北京：中国
第14回大会	2017年	ベオグラード：セルビア
第15回大会	2018年	ケベック：カナダ
第16回大会	2019年	香港：中国
第17回大会	2020年	イスタンブール：トルコ（中止）
第17回大会	2021年	イスタンブール：トルコ（オンライン開催）
第18回大会	2022年	パリ：フランス（オンライン開催）
第19回大会	2023年	バンドン：インドネシア
第20回大会	2024年	ダブリン：アイルランド
第21回大会	2025年	バンコク：タイ
第22回大会	2026年	イスタンブール：トルコ

地域地理オリンピック(地域大会)

第1回大会	2007年	シンチュー：台湾
第2回大会	2009年	つくば：日本
第3回大会	2011年	メリダ：メキシコ

国際地理オリンピックは 3つの種目で競います。

◆記述式テスト(WRT)

さまざまな地理的な事象や地域の課題についての問いに、地図や写真、統計などの資料を手掛かりに答えます。答えを導き出す過程も採点の対象になります。

◆マルチメディアテスト(MMT)

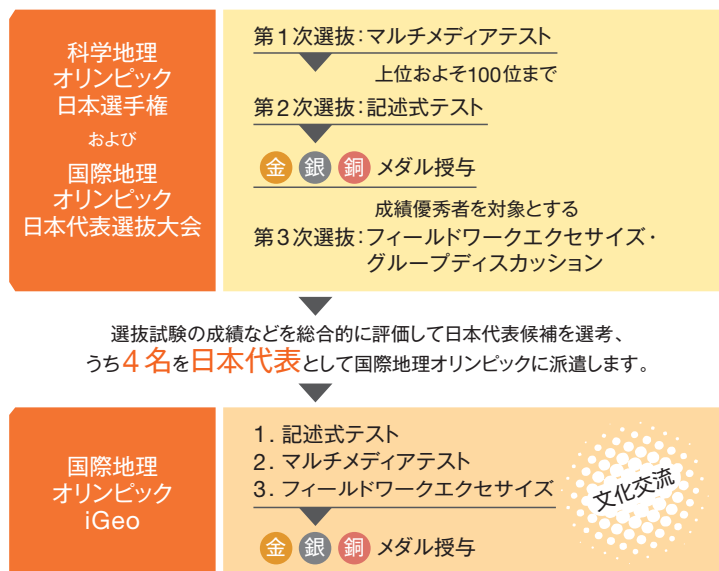
地図、写真、グラフなどを使って、そこで表されている地理的な事象や課題を読み取るテストで、解答は4つの選択肢から選ぶ客観式テストです。

◆フィールドワークエクセサイズ(FWE)

指定された地域のコースを歩きながら観察します。いくつかのチェックポイントをまわり、そこで説明を受けます。競技者は、観察した地理的な事象や地域のようす、観察した景観についてメモを取りながら歩きます。そして、課題が出されて作業を行います。野外での観察と作業のあと、それらをもとにした問題に答えます。問題で求められていることを的確に表現しなければなりません。

「地理オリンピック」の共通言語は英語です。国際地理オリンピック（世界大会）ではすべて英語で出題され、英語での解答が必要です。（辞書の持ち込みは可）そのため、科学地理オリンピック日本選手権でも全体の2割の問題は英語による出題・解答です。英語による解答は、上手な文章でなくても、論理的に正しく的確に表現することが大切です。非英語圏の国々からも、多くのメダル受賞者が出ています。

「地理オリンピック」の世界大会や地域大会では、さまざまな国の学生や先生と交流することも大切な目的の一つです。世界には、「地理」を理科の科目のひとつとして学んでいる国もあれば、地理と歴史が補完的な関係を持ち同じ先生が地理と歴史を教える国もあります。さまざまな国・地域から集う学生や先生と交流し、お互いの国の文化、教育などについてさまざまな相違点を共有し合うことは「地理オリンピック」ならではの国際理解です。



◆ 募集要項

参加資格

2026年4月以降、大学およびそれに相当する教育機関で教育を受けていない19歳未満の者。ただし、世界大会の出場選手（4名）は、2027年8月1日時点で16歳～19歳の者から選出されます。

※高校・高専3年生および中等教育学校6年生は、第1次・第2次選抜試験までの国内大会には参加できますが、世界大会代表の選抜対象にはなりません。

選抜について

■第1次選抜 2026年12月12日(土)

会場：オンライン受験のため会場は設けません。

方法：マルチメディアテスト

スライドで提示する地図・図表・写真などをつかった問題に答える客観式テスト。問題の約2割は英語による出題で、英和辞書の持ち込みは紙媒体のみ可。解答時間は50分です。

選考：テストの成績上位約100名が第2次選抜に進むことができます。

受験上の注意：第1次選抜では、配信された問題を見て、オンラインで解答する方法をとります。

詳細は受験票に掲載します。スマートフォンでも受験可能ですが、問題の性質上、比較的画面の大きいタブレットもしくはPCを使って受験することをお勧めします。本委員会では機器の貸し出し等は致しません。なお、学校管理者の了承があり、担当の先生が責任を持って試験を実施していただける場合は、学校のコンピュータ教室等で受験することも可能です。担当の先生に問い合わせてください。

■第2次選抜 2027年2月21日(日)

会場：東京・大阪など全国9カ所程度を予定。

第2次選抜受験者の居住地を考慮して会場を指定します。感染症の拡大など、状況によってはオンラインで実施する可能性があります。

方法：記述式テスト

地図・資料などの読解を中心にした記述式テスト。問題の約2割は英語による出題で、辞書の持ち込みは紙媒体のみ可。解答時間は120分です。

選考：成績優秀者を表彰し、金、銀、銅メダルを授与します。

成績上位（約10名）が第3次選抜試験に進むことができます。（世界大会出場資格がない者は3次選抜試験の対象になりません。）テストの結果は、後日、個人宛てに通知します。

■第3次選抜 2027年3月13日(土)・14日(日)

会場：関東地方で実施予定。

感染症の拡大など、状況によってはオンラインで実施する可能性があります。

内容：フィールドワークエクセサイズ・グループディスカッション

フィールドワークエクセサイズ：フィールドワークをもとにした筆記・作図などの試験。問題の約2割は英語による出題で、英和辞書の持ち込みは紙媒体のみ可。グループディスカッション：地理に関連したテーマについて議論。

選考：選抜試験の成績などを総合的に判断し4名を日本代表として、2027年8月（予定）にエルガヴァ（ラトビア）で開催予定の第23回国際地理オリンピックに派遣します。

問題について

過去の問題の一部は、国際地理オリンピック日本委員会のWebページ（<https://japan-igeo.com>）で閲覧することができます。『地理オリンピックへの招待・第2版—公式ガイドブック・問題集—』（古今書院）も参考にしてください。

参加申込みについて

申込期間：2026年9月1日(火)
～11月15日(日)23:59まで

申込み方法：WEBエントリー

申込み専用ページ（<https://contest-kyotsu.com>）からWEBでエントリーします。個人で申し込む「個人申込み」と学校ごとに団体で申し込む「学校申込み」があります。なお、いずれの場合も応募にあたっては保護者の同意が必要です。WEBエントリーでは保護者同意欄にチェックを忘れないようにお願いします。

「個人申込み」

申込み専用ページから各自WEBエントリーしてください。

「学校申込み」

学校で一括して申し込むことができます。在籍する学校の担当の先生に相談してください。

〈担当する先生へのお願い〉

担当する先生がWEB申込専用ページ（<https://contest-kyotsu.com>）にアクセスし、参加者情報入力シートに記入の上、アップロードしてください。なお、学校のコンピュータ教室等でまとめて受験させる場合で、会場の使用許可が必要な場合は事務局にお申し出ください。

大会参加費等について

大会参加費は無料です。

ただし、コンピュータ等の機材や通信費等は受験者の負担となります。

国際地理オリンピックは大学の総合選抜型入試（AO入試）等の特別入試の対象です。

科学地理オリンピックで日本代表として選抜された者あるいは日本国内で行われる代表者選考等で一定の成績を収めた者を、特別入試の対象としている大学があります。

【受験に際しての注意事項】

- 第1次選抜はComputer Based Testing（CBT、コンピュータとインターネットを用いた試験形式）ですが、あくまでも通常の試験会場で行われる試験と同様の条件で行われます。
- 自身の周辺に置いて良いものは、計算用紙、鉛筆がシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計、メガネ、紙媒体の英和・和英辞書です。
- 解答時に参考となる教科書・参考書・辞書類の使用は認められません。問題の解答を他者に相談・聞くなど、他の人に助けを求める行いも禁止です。
- 試験中にWebを通じた検索や、試験中でのSNSを介した他者との連絡など、インターネットを本来の試験の意図から外れて使用することは不正行為となります。
- 受験上の不正行為が発覚した場合、第19回科学地理オリンピック日本選手権の参加資格・権利の全てを失います。
- 試験開始にあたり、不正防止に関する宣誓をして頂きます。
- なお、第2次選抜、第3次選抜がオンラインで行われる場合も同様です。

WEB申し込み専用ホームページ

<https://contest-kyotsu.com>

参加申し込みに関するお問い合わせは

☎ 科学オリンピック共通事務局へ

・TEL 042-646-6220（平日12:00～13:00／17:00～19:00）
・E-mail info@contest-kyotsu.com

個人情報の取り扱いについて

「科学地理オリンピック日本選手権および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」は、国際地理オリンピック日本委員会（以下、「主催者」といいます）が主催しています。ご提供いただく個人情報は、次のように取り扱います。参加申込みされる方およびその保護者は、以下の内容について同意した上で申し込んでください。

1. 個人情報の収集目的について

「科学地理オリンピック日本選手権および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」においては、参加申込みの際に提供された参加申込者本人およびその保護者に関する個人情報ならびに「科学地理オリンピック日本選手権および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」の各段階において記録・撮影される写真等は主催者に登録され、主催者が本事業の円滑な運営を遂行するために使用するとともに、本事業に関連する各種広報のために利用させていただきます。

2. 個人情報の第三者への提供・預託について

・ご提供いただいた個人情報は、「科学地理オリンピック日本選手権

および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」の実施運営のため、管理されます。提供するにあたっては、主催者は個人情報の適切な管理を実施いたします。

3. 個人情報の業務委託について

主催者は「科学地理オリンピック日本選手権および国際地理オリンピック日本代表選抜大会」の申込受付業務および受験業務の一部を株式会社教育ソフトウェアに業務委託しております。

4. 個人情報のご提供の任意性について

個人情報のご提供は任意ではありますが、必要な情報がご提供いただけない場合は、上記利用目的の遂行に支障が生じる可能性がありますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

5. 個人情報の管理者について

ご提供いただいた個人情報は以下の者が適正に管理いたします。国際地理オリンピック日本委員会実行委員会

実行委員長 秋本 弘章
国際地理オリンピック日本委員会実行委員会
事務局局長 滝沢 由美子

6. 個人情報に関するお問い合わせについて

ご提供いただいた個人情報に関して、開示、および開示の結果、当該情報が誤っている場合に訂正または削除のお申し出をいただいた場合には、速やかに対応させていただきますので、下記までご連絡ください。

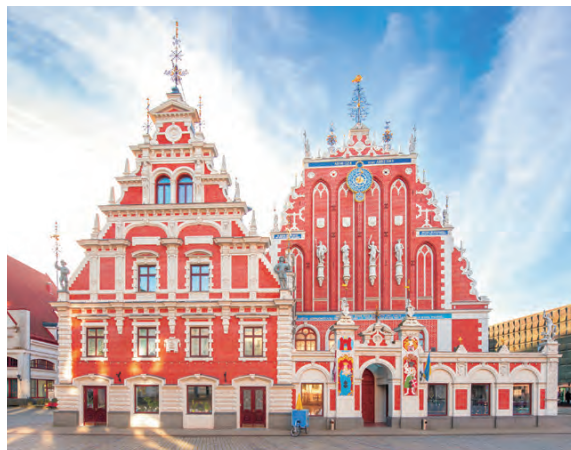
〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16
学会センタービル
公益社団法人 日本地理学会 事務局 貸付
国際地理オリンピック日本委員会実行委員会 事務局
E-mail: geolympiad@ajg.or.jp

第23回 国際地理オリンピック iGeo Jelgava 2027

会期 2027年8月(予定)

会場 エルガヴァ(ラトビア)およびその周辺

表彰式 3月27日(土)立正大学



「地理オリンピック」って男だらけ？ そんなことはありません。
世界では女子選手が活躍しています。
世界大会出場のOG2人と引率教員2人が、
オンラインで国際地理オリンピック大会について語り合いました。

飯田 菜未さん(茨城県立土浦第一高等学校出身、東京大学卒、プラントエンジニアリング業界の事務系総合職、2019年香港大会出場)

平賀 美沙さん(桜蔭高等学校出身、東京大学卒・同大学院修了、会社員として活躍中、2013年京都大会出場)

井上 明日香先生(神奈川県立神奈川総合高等学校教諭、2019年香港大会ほか引率教員)

林 靖子先生(獨協埼玉中学高等学校教諭、2021年イスタンブール大会(オンライン開催)ほか引率教員)



林: はじめに、飯田さんと平賀さんが、国内選考を受験したきっかけを教えてくださいませんか？

飯田: もともと地理がすごく好きというわけではなかったのですが、高校の時の担任の先生が地理の先生で、その先生に薦められました。



平賀: 高校の地理の授業が面白くて、それで自分でいろいろ勉強をしているうちに、この大会のことを知り受験しました。

林: どのような対策をして国内・世界大会に臨みましたか？

飯田: 地理の問題集や日々の授業を大事にしています。世界大会に向けては、強化研修会で多くを学びました。



平賀: 私は理系ですが、地理の大学入試問題を解くほかに、図書室で地形図や都市地理学の本など、フィールドワークに活かせるようなものを借りて読んでいました。世界大会に向けては、英語の単語を自分でまとめたり、強化研修会でいただいた本を読んだりしていました。

林: 世界大会では、他国の女子選手とどのような交流がありましたか？

飯田: 大会中、香港とルーマニアの選手と相部屋で、お土産の交換をしました。

平賀: 私は台湾の選手と同室でした。お互いメダルを獲得して、抱き合って喜んだ思い出があります。シンガポールの選手とは、大会後、私がシンガポールに行った時に案内をしてくれて、彼女が日本に来た時は、私が案内をしました。

Girl's
Talk

地理オリンピック
ガールズトーク



井上: 今の生活で、地理オリンピックの経験が役立っていると思うことはありますか？

飯田: 世界大会に行き、地理により興味を持ちましたし、自分の英語力をもっと磨かなきゃと思ったので、今、大学の授業で地理や英語に関するものを履修しています。江戸時代の名所を文献から調べてまとめる授業では、ここはこういう地形だからこういう建物なのかなとか、地理学的な視点で考えることができています。

平賀: 大学では土木学科に入り、授業の中で地形図をみて歴史を考えるといったことが求められましたが、地理オリンピックのおかげで、私はそれが得意な方で良かったです。また、旅行に行っても、この道は昔からあるのかなど、今見えているものの背景を考えながら歩くことができ、その基礎は地理オリンピックを通して学んだことにあっていると思います。

井上: やったことが活きているのは、私たちスタッフも嬉しいですね。



林: 最後に、これから地理オリンピックを受験しようとしている女子中高生へメッセージをお願いします。

飯田: 地理に限らず科学オリンピックは、男子が多いイメージかもしれませんが、気負わずに受けてほしいなって思います。世界大会に行くと、4人中全員女子という国もあるので、皆さんにチャレンジしてもらいたいです。女子ならではの視点というのも、大事だと思います。

平賀: 気軽に楽しく受けて良いと思います。代表にならなくても、試験を通して身につけたことをいかして、地理をいかした仕事に携わる人が増えるといいなと思います。

井上: 性別に関係なく興味を持ったら受験してほしいですね。

テストの様子(ダブリン・バンドン大会より)



記述式テスト



国際大会では英語で解答します



フィールドワークエクササイズ



現地での景観観察



観察事項をまとめる



現地での課題説明

科学地理オリンピック(国際地理オリンピック)の国内選抜試験で出題された問題を紹介します

マルチメディアテスト(MMT)

第1次選抜試験 問題例

次の2つの写真はある国で撮影された。撮影された国はどこか。

①アルゼンチン ②カナダ ③ジャマイカ ④ペルー



解説・解答

左の写真では伝統的な民族衣装が示されている。色彩の鮮やかさ、帽子に特徴がある。
右の写真は市場での風景。様々なトウモロコシが販売されている。このことからアンデス山中の国で撮影されたことがわかる。正解は④のペルー。

記述式テスト(WRT)

第2次選抜試験 問題例

表A1は、2024年のEU加盟国のうち、農産物の輸出額上位4カ国のデータを示したものであり、①～④は、図A1のa～dのいずれかの国である。

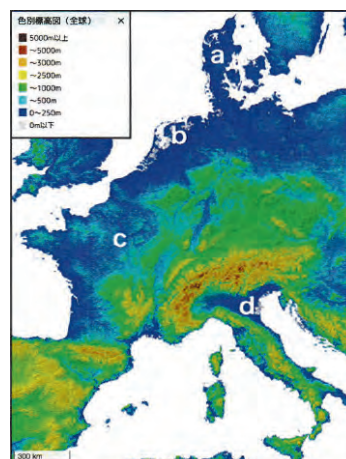
(1)表A1中の②国は穀物の生産量・輸出量がともに多くなっている。
その背景を、自然条件やEUとの関わりをもとに説明しなさい。

表A1 EU域内の農産物の輸出額上位4カ国

(単位 100万ドル)

	穀物	乳製品・卵	果樹・野菜
①	6350	19647	34679
②	13204	9605	8630
③	10191	7099	12982
④	1346	4079	867

出典：UNCTAD



図A1

解答例

フランスは温暖な気候と平坦で機械化に適した地形に恵まれ、小麦を中心とした穀物の大規模生産が可能である。
さらに、共通農業政策の補助金や価格保証によって穀物生産が安定しており、輸出も盛んである。



2025年8月に
バンコクで行われました



Cultural Nightにて

第21回 国際地理オリンピック iGeo Bangkok 2025

世界大会はテストではありません。ポスタープレゼンテーションや文化交流・エクスカーションなど多彩なプログラムが用意されています。



ポスターセッション



開会式前イラン代表と



ホテルロビーにて(FWE前)



閉会式 台湾代表と



開会式予行

代表選手メッセージ

※所属学年等は大会参加時のもの

地理オリンピックと聞くと、世界の国旗や高度な地理学理論などマニアックな内容を暗記しなければならないのか、と思うかもしれません。もちろん暗記して損することはありませんが、高校教科書で習う知識と常識があれば国際大会でもほとんどの問題は解けます。実際のところ、地理オリンピックが測っているのは、知識というより、与えられた情報を読み解き、それを自らの知識と組み合わせて論理的・批判的に考察し、時には問題点を指摘して改善策を立てる能力なのです。これらの能力は、将来の進路に関わらず重要なものですから、地理オリンピックは決して地理オタクや地理学を専攻したい学生のためだけにある大会ではないのです。だからこそ、これまであまり地理に関係ないと思っていた方にも、地理オリンピックに参加するをお勧めします。 日本代表選手 井上 遥斗(灘高等学校3年)

「地理って、ひたすら暗記する科目でしょ?」もしそう思っているなら、地理オリンピックはそれを大きく覆してくれるはずです。なぜなら、ここで求められるのは単なる知識の量ではなく、物事を地理的視点から多面的に捉える力だからです。そして、その力が試される地理オリンピックならではの試験が、フィールドワークテストです。実際に街を歩き、与えられた地図を「読む」だけでなく、自らの足と視点で地図を「描く」楽しさがそこにはあります。さらに、地理オリンピックの魅力は試験そのものにとどまりません。ここには、地図や地理を愛する高校生が全国から集結します。フィールドワークでどこに行くのか予想して盛り上がり、各々の地元について語り合ったりしてできた仲間は、高校卒業後も続く一生の財産になります。日本代表になれば、その輪は世界に広がります。さあ、教室を飛び出して、机の上では味わえない「生きた地理」を体感しに行きませんか。あなたの挑戦を待っています! 日本代表選手 佐藤 大智(広島大学附属福山高等学校3年)

地理の面白さは、世界で起きている多様な現象を繋がりとして捉えられることにありと思っています。気候や地形が産業や文化に影響し、それが人々の暮らしや街の雰囲気まで形作っている。地理を学ぶと、普段見ている景色やニュースの見え方が少し変わります。

僕はもともと、地理が得意だったわけではありません。しかし、地理オリンピックの問題に触れたとき、知識を覚えることよりも、なぜそうなのかを考える面白さに惹かれました。統計や地形図、写真を見ながら地域の特徴を読み取っていく問題には、学校の勉強とは違う楽しさがあります。答えを出すこと自体よりも、考えている時間そのものが好きです。

国際大会では、世界各国から集まった参加者と交流することができました。同じ地理が好きでも、注目する視点や興味の持ち方は本当に人それぞれで、多くの刺激を受けました。大会を通して、地理は単なる科目ではなく、世界を理解するための視点なのだと感じました。少しでも地図を見るのが好きだったり、世界のことを面白いと感じたりする人には、ぜひ挑戦してみてください。きっと、自分の見ている世界が広がるはずです。 日本代表選手 日高 洸城(宮崎県立宮崎西高等学校3年)

「地理は好きだけど、英語ができないから地理オリンピックは諦めた。」大学に入学した今、こう述べる友人に出会いました。確かに、出題が英語でなされる以上、英語面の対策は重要です。しかし、国内大会参加を諦めるほど英語力は心配する対象なのでしょうか。地理オリンピックでは、文法が変でも、意図が伝わりさえすれば点がつきます。試験には辞書が持ち込めますし、海外選手は私の下手な英語を理解して交流してくれました。その上、地理オリンピックでの英語対策は大学入試対策に直結します。地理学は人文・社会・自然様々な学問分野に隣接していることもあり出現回数も多いです。何より地理オリンピックは、英語力ではなく、あくまで「地理力」を競う大会です。英語が苦手な人も、まずは国内予選に出てみましょう。恐れているほど手強くはないかもしれません。

日本代表選手 山中 公裕(ラ・サール高等学校3年)

引率教員メッセージ

地理オリンピックは、単なる知識の量を競う場ではありません。多くの選手が語るように、ここで求められるのは、データを読み解き、地域の課題を発見し、その解決策を自ら思考する力です。そこに「完璧な正解」はありません。だからこそ、自分が導き出した答えの弱点までも見つめ直す、真摯で謙虚な姿勢が必要になります。

一般的な「正論」だけでは、地域の課題は解決できません。そこには固有の自然環境があり、人々の営みがあり、紡がれてきた歴史があるからです。データという客観的な視点と、実際に現地を歩いて得た肌感覚とを突き合わせる。「地理」ならではの発想で地図に表現し、課題を考察し、提案する。世界中の高校生との交流を含め、この大会でしか味わえないさまざまな貴重な経験は、間違いなく皆さんの未来を支える力になります。

日本代表引率教員 田中 岳人(同志社女子中学校高等学校)

高校で地理を教えて10年。年々探究心が深まり、世界の見え方が変わっていくことを実感しています。「なぜこの地域の地価は上がっているのか」「この地名の由来は何か」。ふとした疑問から地図を開き、現地を歩いて観察し、考える。地理を学ぶことで、日常の風景の中に無数の「なぜ」が立ち上がり、作られた統計地図やグラフを批判的に見ることが出来るようになりました。地理オリでは、統計データ・地図・写真・現地調査等を基に、得られた情報を自分の持つ知識を手掛かりに現状を分析し、地域の未来を多面的に考える力が求められます。この力は、これからの社会で皆さんに確実に求められる力であり、未来を切り開くための大きな武器になります。「地理学は諸科学の母」とも呼ばれます。自然と人間の関わりを総合的に捉える地理オリンピックは、その魅力を存分に体感できる舞台です。

日本代表引率教員 糸井 剛志(京都府立洛北高等学校)